

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～29℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.2kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり9kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり44kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり390kgの水揚げで、前週の68%（前年を下回った）。
- 定置網——対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり222kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヤズなどが1日1統当たり587kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり205kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/3日～8/7日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（北太平洋中央部付近で操業、日本海は佐渡周辺及び八戸沖に出漁船あり）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～佐渡沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 3日延3隻、総計68箱、1航海最高38箱、平均22.7箱、スルメイカ（20入・入合）3箱、ケンサキイカ（2立～4立）65箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-22号 トビウオ漁況予報・第31-23号 長崎県周辺海域の海面水温（8月号）」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

次回の漁海況週報は、令元年 8月23日（金）の発行になります。

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>